

講座 22	シューマンの後期の創作と生涯				
	【定員】150名 【受講料】2年会員 14,380円 1年会員 16,060円 聴講生 21,080円				
	【音楽・芸能】 音楽Ⅰ 講座 【時間】 10時30分～12時00分（計12回）				
概 要	1844年になるとシューマンは最初の精神の危機を迎えます。そのために住み慣れたライプツィヒからドレスデンに転居し、回復することができました。その後1850年からデュッセルドルフの音楽監督となりますが、ふたたび精神の危機に陥り、1854年2月、発作的にライン川への投身自殺を試み、最後はエンデニヒの施設で生涯を閉じることになります。この講座ではシューマンの波乱万丈のこの時期の作品について取り上げてまいります。				
回	月/日（曜）	会 場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/2(木)	新百合21ビル B2 多目的ホール	精神の危機と「ピアノ協奏曲 イ短調」による復活	桐朋学園大学名誉教授 西原 稔	
2	10/9(木) 休講		「子供のアルバム」の創作と家族愛		
3	10/16(木) 休講		「ピアノ三重奏曲 第1番」と室内楽創作の復活		
4	10/23(木)		創作の第2の頂点1849年 その1－「小協奏曲」を中心に		
5	10/30(木)		創作の第2の頂点1849年 その2－「幻想小曲集」を中心に		
6	11/6(木)		演奏会 【演奏曲】「3つのロマンス」作品94(ヴァイオリン版で) 「幻想小曲集」作品111 ほか		